

平成30年度「学校運営協議会の設置・拡充に向けた調査研究事業」まとめ【概要版】

教育委員会名	甲州市教育委員会
研究課題	学校の再編統合が計画されている地域における学校運営協議会の構築
研究のねらい	<p>今日的な教育課題である「学校の再編統合」が計画されている地域において学校運営協議会の制度を生かした地域のモデル構築を推進する。勝沼・大和地域内の単なる2つの中学校の集合体ではなく、新たな共同体として、有効に機能させることによって教育効果を高めたい。その結果、それぞれの学区を合わせた地区・地域から信頼される学校づくりを目指す。また、統合をスムーズに進め、統合された地域のそれぞれの特色を生かしつつ、新たな学校づくりに向け、保護者・教職員・住民が一体となり、提案型の協働組織である「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会」の設置及びその有効活用について、次の3つの研究・検討を行う。1つ目として、統合後の学校が新たな学区の地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策に関する研究を行う。2つ目は学校運営システムの抜本的改革に関する研究をすることによって、既存の組織を発展的に、学校運営協議会へと移行させ、7つの小中学校の集合体から7つの学校の共同体となるコミュニティ・スクールの導入を目指し、学校を地域が支える体制の維持・向上を図る。3つ目は統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組として、統廃合に向けての円滑な生徒交流と相互理解の推進を図り、勝沼地区の果樹栽培や武田氏終焉の地としての大和地区の歴史など、地域のよさや伝統・文化等を共有し、実感できるカリキュラムを開発して実施する。このことによって、互いに違う地域や学校で過ごしてきた経験を、学習へのモチベーションやコミュニケーションの高まりにつなげ、地域を題材とした学習を通して、児童生徒が主体的に関わり、互いに伝え合い、学び合うことの楽しさを実感できる教育活動づくりを目指す。</p>
研究の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○勝沼中学校と大和中学校の統合に向け、勝沼・大和地区の実態や特性に合った学校運営協議会を設置するために、「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会」を組織した。保護者や地域の声を参考にして、学校運営や教育活動に反映させるための方策・組織体制や運営方法について実践的に研究を行う。 ○菱山小学校が事務局となり、推進役となることによって勝沼・大和中学校区内にある7つの小中学校に平成31年4月に学校運営協議会が設置される。さらに地区内の連携がスムーズとなり、地域からの応援もたくさん出てきて、5つの小学校から児童が統合校に入学し、学校と地域が発展する。 ○検証方法は、「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会」で話し合った内容やコミュニティ・スクールについて周知を図り、教職員・保護者・地域住民にどのくらい理解を得られたかのアンケートを行う。また、各校間で教育課程等どれだけ連携が図れたか、共通項を集約する。

<p>研究の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会」を組織することができた。 ○「コミュニティ・スクール」の学習会を実施したことで、全小中学校に「学校運営協議会」の設置に向けての意識の高揚を図れた。 ○先進校視察を行ったことで、「コミュニティ・スクール」の理解が一層深まった。 ○現在行っている地域に関連した学習を地域とともにある学校づくりの視点から見直すことができた。 ○勝沼・大和地域の小中学校が情報交換をしながら、地域の方々からのアンケート結果を学校づくりに活かしていく体制ができたことは、小小連携・小中連携・学習の継続性の面で非常に有効だった。 ○すでに学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとしてスタートした学校の実践を通して、各校における学校運営協議会設置に向けた土台となる学習ができた。 ○教育課程を地域素材の教材化、地域との連携という視点から見渡し、一覧表を作成することによって、地域とのつながりの重要性を確認することができた。また、今年度の活動を振り返り、様子をまとめたことで、改善、継続に向けて見直しをもつことができた。 ○菱山小学校のこれまでの取組を紹介していただき、来年度の実践に向けて参考にすることができた。 ○来年度から勝沼大和地区全校がコミュニティ・スクールとなる中、勝沼・大和コミュニティ・スクール推進委員会が設置され、コミュニティ・スクールについての理解、設置の手順など、丁寧に提示されたので何をまず進めていけばよいのかが見えてきた。菱山小学校、大和小中学校の先進校の取組が大変参考になりました。 ○1年生から6年生までの教育課程において、地域に根ざした活動の一覧を作成し、地域と連携できそうな取組を整理することができた。 ○学校として、地域の良さを子供たちに伝え、地域を愛する子供たちを、地域や保護者とともに育てるという意識を高めることができた。 ○各学年で、地域の方々とともに学習の洗い出しを行うとともに、【単元構想表】を作成し、活用したい地域の力や連携方法、指導の流れを明確にしながら授業実践をすることができた。多くの学習支援ボランティアに御協力いただき、実りある学習を行うことができた。 ○学習支援をしていただくボランティアの方々の【ボランティアリスト】を作成することができた。保護者や祖父母、地元の教職員、一緒に清掃活動を行っている老人クラブの方々等を中心に呼びかけと募集を行った結果、30名ほどの学習支援ボランティアリストを作ることができた。 ○来年度の学校運営協議会の設置に向けて、方向性が見えてきた。 ○勝沼大和地区のコミュニティ・スクールとしての設置が具体化してきた。 ○コミュニティ・スクール設置に向けて、改めて学校の強みや良さ、また、課題などについて確認し、それを職員で共有できたこと。
<p>本件 問い合わせ先</p>	<p>甲州市教育委員会 教育総務課 電話番号 0553-32-1412 メールアドレス kyouiku@city.koshu.lg.jp</p>